

トピックス

◆◆ とも義足の青年が挑戦 がん撲滅のためカナダ横断

十二才のときにがんのため片足を切断した青年が、がん撲滅キャンペーンでカナダをひた走っている。青年の名はステイブ・フォンヨ。フリティッシュ・コロンビア州バーノン出身で、十九才。

Canapress



極寒の中、ウィニペグ近辺を走るフォンヨ君。(85年2月)

めようと、義足で大陸横断マラソンを試みたテリー・フォックスが、病巣転移のためにマラソンを中断した地点だ。

これまでに沿道の人々や団体から、五十万ドルをこえる寄付申込みがあった。残った道程は、西部カナダからフリティッシュ・コロ

ンビアまで二千七百七十五キロ。最終地点に到着するまでに、さらに多くの募金が寄せられるものと思われている。

フォンヨ君は、クリスマスを家族と過ごしたあと、一月三日、厳しい寒さの中を再び目的地に向けて走りはじめた。毎日朝七時から十時間も走って、バンクーバーに到着するのは四月の見込みだ。

◆◆ 三井物産、テレガイドを導入 将来は大阪など各地にも

三井物産が、テリドンを使ったビデオテックス情報サービス「テレガイド」を東京で設置するライセンスを、ソフトウエア会社のインフォマート・カナダから取得した。

テレガイドは、コンピュータ端末を利用して、ニュース、天気予報、レストラン案内などの情報を簡単に引き出せるようにしたシステムで、トロントではホテルやショッピング・センターに数百台設置され、米国でもすでにサンフランシスコ、サクラメント、ロサンゼルスで利用されている。日本では東京・赤坂の一ツ木通りと横浜駅近くの地下街に設置されているが、本格導入はこれが初めて。三井物産はすでに、ソニーなど

と共同出資で「東京テレガイド」を設立し、五月から東京のホテルや商店街に五十台の端末を設置するという。三年間に五百台にふやし、その後は大阪、名古屋、福岡などにもテレガイド網を拡大する予定。

◆◆ テリドン、国際標準規格に 国連の下部機関が公認

カナダが開発した文字図形情報システム「テリドン」に基づくコード規格NAPLPS(ナプリブス)が、国連の専門機関である国際電気通信連合(ITU)の下部組織・国際電気通信諮問委員会から公認された。

これにより、テリドンが北米だけでなく、他の地域でも利用される目途がついた。同時に、ビデオテックス・オペレーター、情報提供者、機器メーカー、それに利用者も、規格が不意に変わったためにナプリブス(テリドン)製品が使えなくなる、という心配をしなくて済む。

国際電気通信諮問委員会は、テリドンと同時に、日本のキャプテン、ヨーロッパのCEPT規格も公認した。

◆◆ 一千年前の住居跡 ロッキーマン山中で発見

保養地として世界的に有名なアルバータ州バンフの近くで、およそ一万年一千年前のものと思われる

住居跡が発見された。

住居跡は円形で、直径が三・二メートル、中央にいろりがある。この家が建てられたのは、最後の氷河時代が終わった直後で、当時のアルバータ州には二千年ないし五千の人々が住み、マンモスや、ジャイアント・バイソン、長さ二メートルにもおよぶビーバーなどが徘徊していたものと想像されている。

アルバータ考古学会の上級研究員ジャック・ブリンク氏によると、この住居跡はこれまでに米国大陸で発見された中ではおそらく最古のものだろう、という。

アジアから北米大陸に人が渡ったのは、二、三万年前だといわれている。

◆◆ 継続運動で関節治療に効果 トロントの病院がCPMを開発

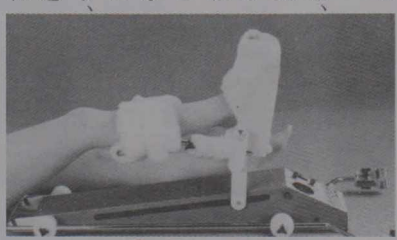
トロント小児病院の整形外科医スレーター博士が考案した「継続受動運動」(CPM)が、手術後の関節の痛みや異常なはれを和らげたり、退行性関節炎を予防するのに効果があることが分かった。

スレーター博士は、一九六九年以来、CPMの研究に取り組んできた。九年後、動作と治癒に強い関係があることを発見。手術を受けたあと、ギプスで固定したままにした関節は、新しい軟骨組織が全くできなかつた。むしろ、瘢痕組織が既存の軟骨の割れ目を埋めるため、そこから関節炎になつて

しまう。しかし、少なくとも一週間、継続的な受動運動で治療された関節は、退行性関節炎の徴候をあまり見せず、しかも多くの場合、新しい軟骨を作りだしていた。

オンタリオ州スカバラにあるトロント・メデイカル社では、膝、肘、肩、指関節用のCPM機械「モビリム」を開発した。

モビリムは、膝や足首大腿部などが患者に合わせた速度と範囲で動かせるようになっており、手術後一週間以上これをとりつけて自由に動き回っていると、それだけ回復が早いという。



膝や足首などを動かす受動運動器。

◆◆ 太平洋財団の初代会長に 外務省の貿易担当次官補

昨夏設置されたアジア太平洋財団(理事長ジョン・ブルック氏)の初代会長に、外務省国際貿易担当次官補のレイモンド・アンダーソン氏が就任した。

アンダーソン氏は、アルバータ州の出身で、一九五七年に連邦政府の通商部に入ってから、サンパウル、ロサンゼルス、マニラ、台北、ホストンなどで商務官、ロサンゼルスで総領事、駐オーストラリア高等弁務官などを歴任した。